



6NC ごとに異なる電子カルテや異なるバイオバンク用のデータベース (In house DB) を構築していますが、バイオバンクデータを共通化して、収集状況を確認できる基盤 (カタログ DB) を構築しています。ホームページ上で 6NC が収集している試料を横断検索できます。

カタログデータベース掲載の 6NC 共通問診項目

患者基本項目	生年月日、性別、身長、体重、血圧
問診情報 (既往歴)	がん、高血圧、糖尿病、脳卒中、心疾患、腎疾患、肝疾患、精神疾患、現疾患
問診情報 (生活歴)	家族歴、飲酒歴、喫煙歴、アレルギー歴、手術・輸血歴
病名情報	主病名と併存病名の ICD-10 コード、もしくは MEDIS 管理番号
生体試料情報	試料種別、試料の採取日、保存方法



① 「Web ページの TOP リンク」 又は 「カタログデータベースの検索入口」 から検索ページへ



③ 問診情報の選択

検索条件に問診情報を含めることで更に試料を絞り込みます。



④ 検索結果画面

検索条件に該当する試料の総数を 6NC 別に確認できます。更なる詳細な情報が必要な場合や研究への利用を希望される場合は、お問い合わせ ID をクリックしていただきお問い合わせ画面にお進みください。

	NCC	NCVC	NCNP	NCGM	NCCHD	NCGG
総登録登録者数 (人)	51014	20786	18682	14132	1673	11177
該当登録者数 (人)	2869	213	3	202	0	59
バイオリソース 保存検体：利用可能な検体数						
血液	2869	234	3	199	0	74
DNA	2869	245	2	212	0	64

単位：人

[お問い合わせ](#)

② 研究対象疾患と必要試料を選択

病名は ICD10 コード /MEDIS 病名を入力するか、ICD10 分類リストから選択してください。



国立精神・神経医療研究センター
〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1
TEL 042-346-3520
URL <https://www.ncnp.go.jp/mgc/bio.html>

国立国際医療研究センター
〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
TEL 03-3202-7181
URL <http://biobank.ncgm.go.jp>

国立循環器病研究センター
〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6-1
TEL 06-6170-1070
URL <http://www.ncvc.go.jp/biobank/>

国立がん研究センター
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
TEL 03-3542-2511
URL <https://www.ncc.go.jp/jp/biobank/>

国立長寿医療研究センター
〒474-8511 愛知県大府市森岡町 7-430
TEL 0562-46-2311
URL <https://www.ncgg.go.jp/mgc/biobank/index.html>

国立成育医療研究センター
〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
TEL 03-3416-0181
URL <https://www.ncchd.go.jp/scholar/research/section/bb/index.html>

■お問い合わせは…
NCBN 中央バイオバンク事務局
〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1 国立国際医療研究センター内
TEL.03-5273-6891
<https://www.ncbiobank.org>



NCBN

National Center Biobank Network

ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク

What's NCBN ?

バイオバンクは、血液・DNA・組織などの生体試料（試料）と検査結果や薬剤処方歴などの医療情報（情報）を連結して保管し、大学や研究機関、企業に提供しています。新しい検査法、治療法、新薬の開発、病態の解明などの未来の医療と健康の研究のために活用いただけます。

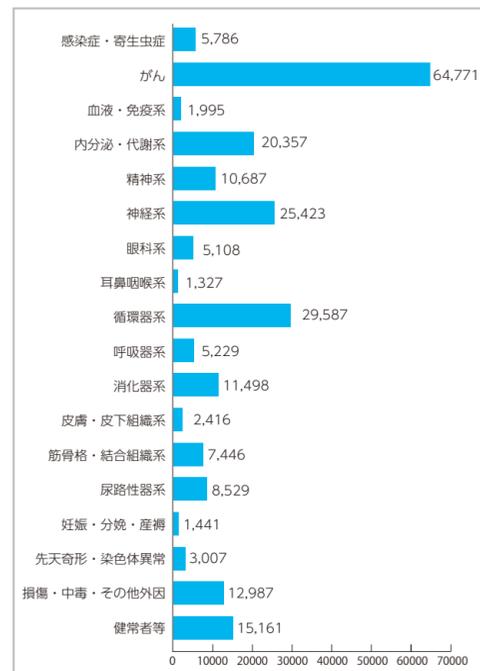
6つのナショナルセンター（National Center: NC*）が持つバイオバンクは、それぞれのセンターの特徴を生かした疾患の試料と情報を収集している疾患型バイオバンクです。ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク（NCBN）は、6つのバイオバンクをつなぎ、効率的に研究者に提供する活動を行なっています。



NCBN の特徴

特徴 1 多彩な疾患と豊富な試料数

現在6NC全体で12万人以上の患者様にご登録いただき、45万以上の生体試料を保有しています。高度医療センターならではの希少な疾患や難病症例の試料、血液やDNA以外の髄液、筋組織、病理凍結組織などの試料もあります。



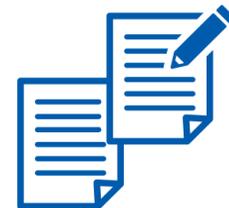
特徴 2 高度な医療と専門性に支えられた追跡可能な医療情報

検査情報や薬剤処方歴など電子カルテから収集できる医療情報を提供できます。時間軸に応じた医療情報が入手できるため、登録後の患者様の治療や検査結果を追跡することができます。



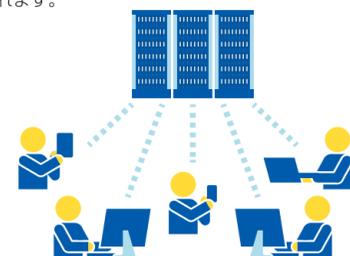
特徴 3 共通プラットフォームで提供申請をより分かりやすく

6NCの連携を強化し、収集と提供プロセスの共通化を図っています。現在6NC 共通でご利用いただける分譲申請書やMTA (Material Transfer Agreement) を作成し、ホームページで公開しています。



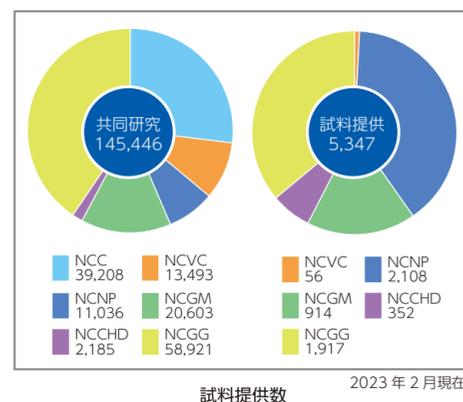
特徴 4 提供可能試料をカタログデータベースで検索可能

研究対象疾患試料の保有検索が簡単に行えるよう、誰でも自由に疾患を検索できる横断検索システム(カタログデータベース)をホームページ上で公開しています。研究の対象疾患や対象患者を選択することで、6NC が保有する試料件数が表示されます。



特徴 5 豊富な試料提供実績

試料提供もしくは共同研究の形で、企業や大学などに1000回以上、15万を超える豊富な試料、情報の提供実績があります。



よくあるご質問

Q1. どんな試料や情報がありますか？

バイオバンク登録者から採取した血液は、血漿・血清・DNA に処理した後、各 NC で保管しています。また、診療時に採取した検査残余試料も保管しており、疾患によっては手術の摘出組織や筋組織、髄液などを保管しています。医療情報は登録時の共通問診項目や病名に加えて、電子カルテから検査情報や薬剤処方歴も提供が可能です。



Q2. どのように提供されますか？

バイオバンクの保有試料は共同研究又は分譲の形態で提供致します。共同研究では、NC の研究者と国内外の大学や研究機関、企業の研究者が共同で実施する研究に対して試料や情報を提供致します。一方、分譲提供では民間企業を含む NC 以外の研究機関が主体的に取り組む研究に対して、MTA (試料提供契約) を締結し試料や情報を提供致します。どのような提供形態になるかは NC や試料によって異なりますので、試料の提供を希望される場合はお問い合わせください。



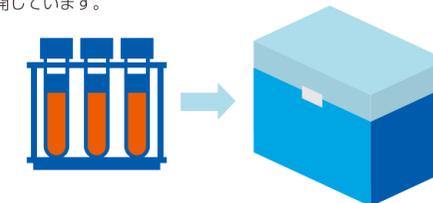
Q3. 申請方法を教えてください。

申請前に興味のある疾患の試料の有無をカタログデータベースで検索していただくか、中央バイオバンク又は各 NC に問い合わせください。試料を保有する NC バイオバンクが試料についての詳細な情報や提供方法をお答えいたします。通常、試料提供前にヒアリングさせていただいた後、研究計画書、利用申請書、倫理審査承認書の写しなどの必要書類をご提出いただき、バイオバンク試料・情報の利用を審査する委員会で研究の妥当性や研究機関の適格性を審査し、承認が得られた場合に試料等が提供されます。提供方法や試料によって、各 NC 内の倫理審査委員会の承認が必要となることがあります。



Q4. どのように試料を管理していますか？

試料の採取から保管までの処理方法や保存方法は、各 NC で決められた標準業務手順書 (SOP) に従って適切に保存しています。収集試料の管理に関する SOP の詳細は NCBN のホームページで公開しています。



Q5. 費用はかかりますか？

分譲提供では有償での提供となります。人件費、試料採取に使用したチューブなどの消耗品や試薬にかかる実費相当の費用をご負担いただくことがあります。



Q6. 誰でも利用できますか？

国内の企業や研究機関であれば、分譲または共同研究の形で試料を提供できます。現在、海外の企業や研究機関への分譲提供は行なっておりませんが、共同研究であれば試料の提供も可能な場合がありますのでご相談ください。



Q7. 健康な人の試料はありますか？

NCBN バイオバンクは疾患型のバイオバンクですが、人間ドックを受診された方や臨床研究の対照群、外傷患者の試料も保有していますので、研究によっては健康な人の試料として取り扱える場合もあります。必要な試料について中央バイオバンクまたは各 NC までお問い合わせください。

